

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE ROAD

2026年
冬号
vol.47

INDEX

- ◆ なごや福祉用具プラザ
「福祉機器コンテスト」で優秀賞を受賞!
- ◆ 地域活動支援センター
「つきみがおか」活動報告
- ◆ りはみんサロン(2025年9月)
- ◆ 第24回全国障害者スポーツ大会
名古屋市選手団の活躍
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会

なごや福祉用具プラザ
ボランティアの皆さまが
「福祉機器コンテスト」で
優秀賞を受賞!

生活の困りごとに寄り添う“ものづくり”“ICT支援”

なごや福祉用具プラザのNFP技術ボランティア



利用者さまの声をもとに、試作と改良を重ねる技術ボランティアの皆さま

「なごや福祉用具プラザ」では、障害のある方や高齢者の生活を支えるため、技術ボランティアによる“自助具”や“被服”の製作・改造と、パソコンやスマホなどの困りごとへの支援が行われています。

今回ご紹介する「自助具グループ」は、毎週木曜・土曜の午後に活動し、障害のある方々の「こんな道具があつたらいいな」という声に応えるべく、創意工夫を重ねています。金属・木材・樹脂加工のほか、最近では3Dプリンターなどを導入して

片手でゴミ袋を縛る道具が福祉機器コンテスト優秀賞!

2025年8月、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会主催の「福祉機器コンテスト」において、自助具グループに所属する竹中さんが考案した「片手でゴミ袋の口を縛るロープ」が優秀賞を受賞しました。

■きっかけは、脳血管障害の方の困りごとを聞いたことから…

このアイデアは、脳血管障害の後遺症のため片麻痺で生活されている方からの相談がきっかけとなりました。自助具グループに所属するボランティアが各自でアイデアを出し合い、試作と改良を重ねました。5種類ほどの試作品は、NPO法人ドリームの会員の皆さまにも見ていただき、ご意見や評価をいただくことができました。「こういうことを考えてくれる市民のボランティアがいることが嬉しいし、心強いね」という感想をいただき、当事者の声を聴く貴重な機会となりました。

その試作品の中でも、持ち運びができる形状でシンプルな構造の「片手でゴミ袋の口を縛るロープ」を福祉機器コンテストに出品することになりました。この挑戦は、発案者の竹中さんはじめ自助具グループボランティアの皆さまが名称のつけ方、プレゼンテーションの方法などを協力して進められました。

■就労支援課と生活支援課で訓練中の5名の方がお試し

書類による一次選考を通過し二次選考の前に、片麻痺の方がこの自助具をうまく使用できるかどうかを検証させていただくことにしました。就労支援課と生活支援課の職員の皆さまの協力のもと、訓練中である片麻痺の利用者さま5名の前で「片手でゴミ袋の口を縛るロープ」を実演して実際に試していただいたところ、すべての方が説明通りに片手で結ぶことができました。二次選考会(非公開)では、試されている画像を見せながらより説得力のある説明ができたそうです。

訓練の時間中にお時間をとってくださった、就労支援課職員の皆さまと利用者の方々に改めて御礼申し上げます。

この自助具は、持ち手がついているゴミ袋を使用する必要があります。持ち手をひっかけておくフックは、キッチンキャビネットの扉のつまみや、市販のフックなどを活用するアイデアをお伝えしています。

YouTube なごや福祉用具プラザ公式チャンネル
「片手でゴミ袋の口を縛るロープの紹介」



就労支援課で利用者さまと職員に試してもらう様子

片手でも簡単に
ゴミ袋を縛れる
工夫が詰まった
受賞作品



表彰式の様子

副理事長・業務課長と一緒に賞状を持つボランティアの竹中さんとグループ代表の尾坂さん

ものづくりを行っています。例えば、指先の震えがある方が使用するパソコンのキーボードカバー、鍵をドアの鍵穴にさして回しやすくする自助具、握力の弱い方のためのボトルオープナーや、一包化された菓袋を片手で開封できる自助具など、既製品では対応できない“困りごと”に寄り添うものづくりが行われています。

持ち手の形や回しやすさを考慮した、鍵を鍵穴にさし込むための自助具



動作確認の様子

スライド式ロック機構



製作した
キーボードカバー



作業風景

“一緒につくる”から生まれる笑顔——自助具の未来

自助具は、障害のある方がご自身で行いたいことを助ける用具です。ボランティアの皆さまはものづくりが好きで、誰かの困りごとに応えるべくアイデアを考えてくださる方々です。

なごや福祉用具プラザは、その双方の想いがつなげられるように、市内各所での広報活動、普及啓発活動に取り組んでいます。またボランティアを希望してくれる方たちには、3Dプリンター講習会や工房の機器の使い方を伝える機会をつくっています。

ものづくりに興味がある方、誰かの役に立ちたいと思っている方には、ぜひなごや福祉用具プラザでボランティアの方たちが活動する様子を見ていただき、一緒に活動していただけたらと思っています。

“こんな道具が欲しい”
という声から始まる、
共創のものづくり



パソコン、スマホ、タブレットの悩み、 トラブル解消にはICTグループのご利用を!



今回は製作・改造を行うボランティアの紹介が中心でしたが、ICTグループも活動中です。障害のある方やご家族、支援者さまからの相談も受け付けています。

「スマホやタブレットに入力する方法をいろいろ試したい」「画面がみえなくても読み上げたり検索する方法を知りたい」「聞こえにくくても音声を文字化したり周

囲の音を知る機能を使いたい」など、障害のある方が情報通信機器を使用する際の困りごとについて、使い方やトラブルの原因を調べたり、便利な使い方を一緒に考えます。

毎月第二土曜日13:00～15:00は、ICT予約相談を受付中です。他の日程で個別相談も行います。

連絡先・
ご案内

なごや福祉用具プラザ

名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル3F

TEL 052-851-0051 FAX 052-851-0056

地域活動支援センター「つきみがおか」活動報告

地域開放企画「夏祭り」を開催しました

地域活動支援センターつきみがおか(以下、つきみがおか)は、精神保健に課題があって社会参加が困難な方を対象とした日中の居場所・活動の場です。お一人おひとりがそれぞれの目的に即して、つきみがおかをご活用いただいています。

これまで夏休み期間中は支援対象者のお子さまを対象にした企画を催していましたが、今回は地域の子どもたちに広く気軽に参加いただき、つきみがおかのことを知ってほしいとの思いから、参加しやすい内容や時間帯に変更して「夏祭り」を開催しました。つきみがおかの日中活動として行っていたものづくりに加え、ゲームコーナー、お菓子のカプセルトイコーナーを企画し、つきみがおかの利用者

さまが役割を担う機会にもなりました。当日は、48名の方にお越しいただきました。地域の方からは「こんな施設があって、いろいろな活動をしていることが知れて

良かった」「また機会があったら来たい」などのお言葉をいただきました。利用者さまからは「少し大変だったけど、たくさんの方が来てくれて楽しかった」「いつもとは違うイベントで楽しかった」などのご意見をいただきました。

今後も地域の方々に、障害について正しく知っていただけるよう地域向けイベントを利用者さまと共に考え、障害理解の促進を目指していきます。つきみがおかでは、Instagramで日頃の活動のご報告やイベントのご案内などを行っています。ぜひ、一度ご覧ください。

お子さまに楽しんでいただきました!



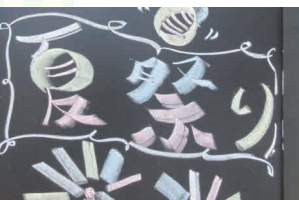
利用者さまやボランティアの方と一緒に、たくさんの折り紙で飾りつけをしました。



一番人気は、ミニーでした!



トイレットペーパーの芯を活用した提灯がかわいかったです!



りはみんサロン報告

2025年
9月

あなたは大丈夫?!

ロコモティブ
シンドロームの
健康講座

9月2日(火)、新しい総合リハビリテーション事業団になってから初めてのりはみんサロンを開催しました!

第1回は「あなたは大丈夫?!ロコモティブシンドローム」の健康講座でした。

当日は、地域の方を中心に14名の方にご参加いただきました。

講座前半は、ご自身のロコモ度把握のために、3種類の「ロコモ度テスト(下肢筋力の判定、歩幅の判定、身体状態&生活状況の判定)」を実施しました。参加者の皆さまは、下肢筋力や歩幅の判定など、身体を使ったテストに全力で取り組んでいました。その判定結果は、ほとんど

の参加者がロコモに該当していました。

テスト後は、福祉スポーツセンターの土井保健師による「ロコモティブシンドローム」や「ロコモ度テスト」についての解説と「食事を中心としたロコモ対策」について講義が行われました。

直前のロコモ度テストでご自身のロコモ度について把握していたため、該当するロコモ度と照らし合わせながら話を聞くことができました。

また、参加者から普段の食生活の中で行っている「カルシウムを多くとる工夫」などの話が出ました。今日から実践できそうな一工夫を聞くことができ、参加者一同大変参考になったようです。

休憩を挟み、後半は自宅で実施できる下肢筋力のトレーニングを2種類行いました。フォームや実施回数などの質問もあり、自宅でも継続的に取り組んでいこうという熱心な姿が垣間見られました。

最後になりますが、りはみんサロンの事務局や委員の皆さまにロコモ度テストを担当していただくなど、手厚くサポートいただきました。ご協力ありがとうございました。



皆さま、
ご参加ありがとうございました!

第24回

全国障害者スポーツ大会

名古屋市選手団の活躍

愛称 わたSHIGA輝く障スポ

スローガン 湖国の感動 未来へつなぐ

目的 滋賀県で開催された第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人がさまざまな場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指す。

大会期間 2025年10月25日(土)～27日(月)

派遣期間 2025年10月24日(金)～28日(火)

おめでとうございます!

獲得メダル数



7個



8個



18個

合計33個





10月25日(土)から27日(月)の3日間、滋賀県において第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」が開催されました。この大会は、毎年国民スポーツ大会(※昨年度より国民体育大会から改称)開催後に同県、同会場で開催されているものです。

この大会の参加資格は、身体障害者(一部内部障害者の参加あり)、知的障害者、精神障害者で、障害の程度や年齢により、障害区分が細かく分かれています。

個人競技が陸上競技・水泳・卓球・アーチェリー・フライングディスク・ボウリング・ポッチャの7競技、団体競技が車いすバスケットボールをはじめとする7競技が実施されました。

名古屋市選手団は、(社福)名古屋市身体障害者福祉連合会会長 橋井正喜氏を



団長として、選手35名、役員37名、合計72名の選手団を編成し、大会に出場しました。

大会期間中は、開閉会式こそなんとか曇り空でしたが、競技中はほぼ雨天となり、特に屋外競技の選手は時折り雨が強まる天候の中で競技することになりました。

結果は、金メダル7個、銀メダル8個、銅メダル18個 合計33個のメダルを獲得することができました。

どの選手も全力で競技し、勝っても負けても最後まで諦めず健闘する姿が印象的でした。

大会公式ウェブサイトではさまざまな情報が掲載されていますので、ぜひご覧いただければと思います。

全スポ滋賀



私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



現在募集中

嘱託職員

嘱託(パート)職員を募集中です。
下記二次元コードで
募集案内をご覧ください。

正規職員

詳細は、下記二次元コードをご覧ください。

随時募集中
です!

職場見学
大歓迎

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式X(旧Twitter)

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式
→ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話:052-835-3811 FAX:052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話:052-703-6633 FAX:052-704-8370



なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話:052-851-0051 FAX:052-851-0056



- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0811

名古屋市瑞穂区北原町3丁目2番地 ジュネス瑞穂1階

電話:052-680-7111 FAX:052-680-7626

- ・熱田区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター しんおとう

〒456-0018

名古屋市熱田区新尾頭一丁目6番10号

第15フクマルビル1階

電話:052-228-3630 FAX:052-228-3631